

一般質問

■第3徳田踏切移設について  
一日も早い工事の完成を！

質

第3徳田踏切は朝日小学校の通学路にある狭くて危険な踏切であるが、この踏切の移設に関する工事が長い間止まっている状態であり、通学路の早期改善が保護者をはじめ地域住民の願いである。

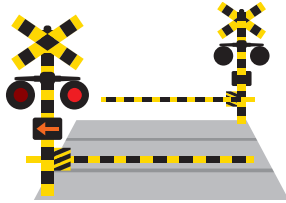
昨年12月9日に行われた馳知事の市町訪問でも現地を見てもらっており、この工事について、県と具体的にスケジュールを協議しなければならぬと考えるが、七尾市として、県とどのような協議をしている状況か、また、どのように進める考えなのか、明らかにしていただきたい。

答

一般県道池崎・徳田線については、第3徳田踏切の抜本的な安全対策として改良工事が計画されているが、これまでも申し上げてきたとおり、旧農業高校の敷地において県と地権者間で用地問題の解決が課題となっている。県からは、今後の対応について現在検討中であると聞いており、市としても、引き続き県との情報共有に努めていくとともに、用地問題の解決に協力をしたいと考えている。



徳田 正則 議員  
(新政会)



一般質問

■観光支援の拡充について  
市独自の旅行割など、具体的な観光支援を！



原田 一則 議員  
(灘会)



質

ここ3年間の新型コロナウイルスも落ち着きつつある。疲弊していた観光産業に関わる皆様は、今後の観光客の入込に大いに期待している。しかし、七尾市の新年度予算では、独自の旅行割が計上されていない。全国各地の自治体がこの春休みから独自の旅行割を実施する状況であれば、七尾市は春休みからゴールデンウィークの観光競争で惨敗してしまう。それは絶対に避けなければならない。和倉温泉のみならず民宿なども対象とした市独自の旅行割の実施など、私は具体的な観光支援事業が必要だと強く思うが、市長の見解を伺う。

答

令和5年度の当初予算では、七尾市出身者やふるさと納税、観光客をターゲットとして会員登録制の七尾ファンクラブを創設する予定である。直接的な旅行割ではないが、そのような方々を対象に本市の最新情報をお届けし、訪れる際にはメリットがあるような取組を検討したいと考えている。市独自の旅行割については、国や県の動向を見据えて必要に応じて検討していきたい。

一般質問

■地域資源有効活用・地域活性化について  
文学賞、温泉大学、温泉学会の創設を提案する！

質

私は、ここにしかない地域の宝を有効活用し、地域を元気にする地域活性化をライフワークとしている。

直木賞作家杉森久英氏を顕彰する全国版「杉森久英文学賞」、「杉森久英市民文学賞」の創設、また、和倉温泉と七尾西濱を舞台にした短歌・俳句を募集する全国版「和倉温泉文学賞」、「和倉温泉市民文学賞」の創設とその財源として宿泊税等の活用を提案する。さらに、全国から温泉の愛好家、専門家、研究者に来てもらい、楽しく学ぶ「和倉温泉大学」「和倉温泉学会」の開催を提案する。

これら提案について見解を伺う。

答

杉森久英氏をはじめとした本市ゆかりの作家や作品を、まずは広く紹介・周知すること、和倉温泉についても、その魅力をしっかりと伝えていくことが重要と考える。提案については、実施団体や審査、運営方法が不明確であり、具体的な実施計画や、その効果をしつかりと試算して、提案していただければ、内容により、市も応援していきたいと考える。

宿泊税を財源とする提案については有効と考える一方、入り込み数の減少の懸念など課題点もあり、意見として承る。



瀬戸 三代 議員  
(あすなろ)



和倉温泉